

環境経営レポート

-第19版-

(対象期間：2023年1月～2023年12月)

2024年03月発行



目 次

- (1) 経営環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
 - 1. 企業経営理念
 - 2. 環境経営理念
 - 3. 環境経営行動指針

- (2) 事業活動の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
 - 1. 事業者名及び代表者名
 - 2. 所在地
 - 3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
 - 4. 事業内容
 - 5. 事業規模
 - 6. 組織図

- (3) 環境経営目標とその実績・・・・・・・・ P 6
 - 1. 環境への負荷の状況
 - 2. 今年度の目標と実績
 - 3. 今年度以降の目標
 - 4. グリーン購入
 - 5. 水使用量・化学物質削減

- (4) 主要な環境活動計画の内容・・・・・・・・ P 8
 - 1. 購入電力削減に向けての取り組み
 - 2. 購入化石燃料低減に向けての取り組み
 - 3. 産業廃棄物低減に向けての取り組み

- (5) 環境活動の取組結果の評価、次年度取り組み内容・・・・・・・・ P 9
 - 1. 電力について
 - 2. 水道について
 - 3. 化石燃料について
 - 4. 産業廃棄物について

- (6) 環境関連法規への違反、起訴等の有無・・・・・・・・ P 1 0
 - 1. 法規制等の名称と遵守状況
 - 2. 違反・起訴等

- (7) 代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・ P 1 1

1. 環境経営方針



<企業経営理念>

『印刷を通じ、社会生活及び経済の向上と繁栄を目指し、文化と情報の発展に寄与する。』

1. 「より良い品質の商品を」、「必要な時に」、「適正な価格で」提供し、顧客とともに発展する。
2. 品質管理・リードタイム短縮・低価格を常に努力する。
3. 顧客のニーズを把握し、あらゆる知識・技術を生かし、より良い方法を提案すべく常に努力する。
4. 企業活動が環境に与える負荷を把握し、負荷を軽減すべく、技術的・経済的に可能な範囲で常に努力する。
5. 企業活動により入手された、顧客・個人・印刷・従業員等の個人情報、破壊・改竄・漏洩を予防し、その収集・利用・提供には関連法規及び各種協定を遵守する。

<環境経営理念>

当社は、事業活動を進めてゆく中で、環境との共生・調和が人類の未来に対する最重要課題であることを認識し、地球環境と地域社会の調和を保ちながら発展してゆくことを目指します。

<環境経営行動指針>

1. 人と地球に優しい事業活動を行い、環境負荷の低減に努めます。
2. 資源・エネルギーの効率的利用
省資源、省エネルギー、リサイクル、グリーン購入に努めます。
3. 環境関連法規及び当社が同意した各種の協定を遵守するよう努めます。
4. 継続的環境改善の実施
環境保全に関する目標を設定し、取組み結果を見直すことにより継続的な環境改善に取り組めます。
5. 環境啓発活動と地域・社会貢献活動の推進
環境活動レポートを公表する等社内外に対して環境保護に関する情報の提供を行い、環境教育活動を推進するとともに、地域・社会貢献活動の推進に努めます。
6. 環境経営の継続的改善に努めます。

2020年8月20日改訂
東京都八王子市式分方町352
株式会社サカモト・プリンティング
代表取締役 坂本 厚郎

2. 事業活動の概要



(1) 事業者名及び代表者名

株式会社 サカモト・プリンティング
代表取締役 坂本 厚郎

(2) 所在地

東京都八王子市式分方町352
TEL 042-651-7300 FAX 042-651-7316
e-mail (代表) info@sakamoto-p.co.jp
Website <http://www.sakamoto-p.co.jp>

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 坂本 厚郎
担当者 坂本 三鈴
連絡先 東京都八王子市式分方町352
TEL 042-651-7300 FAX 042-651-7316
e-mail a.sakamoto@sakamoto-p.co.jp
WebSite <http://www.sakamoto-p.co.jp>

(4) 事業内容

可変情報を主体としたシール、ラベル、ステッカーの製造

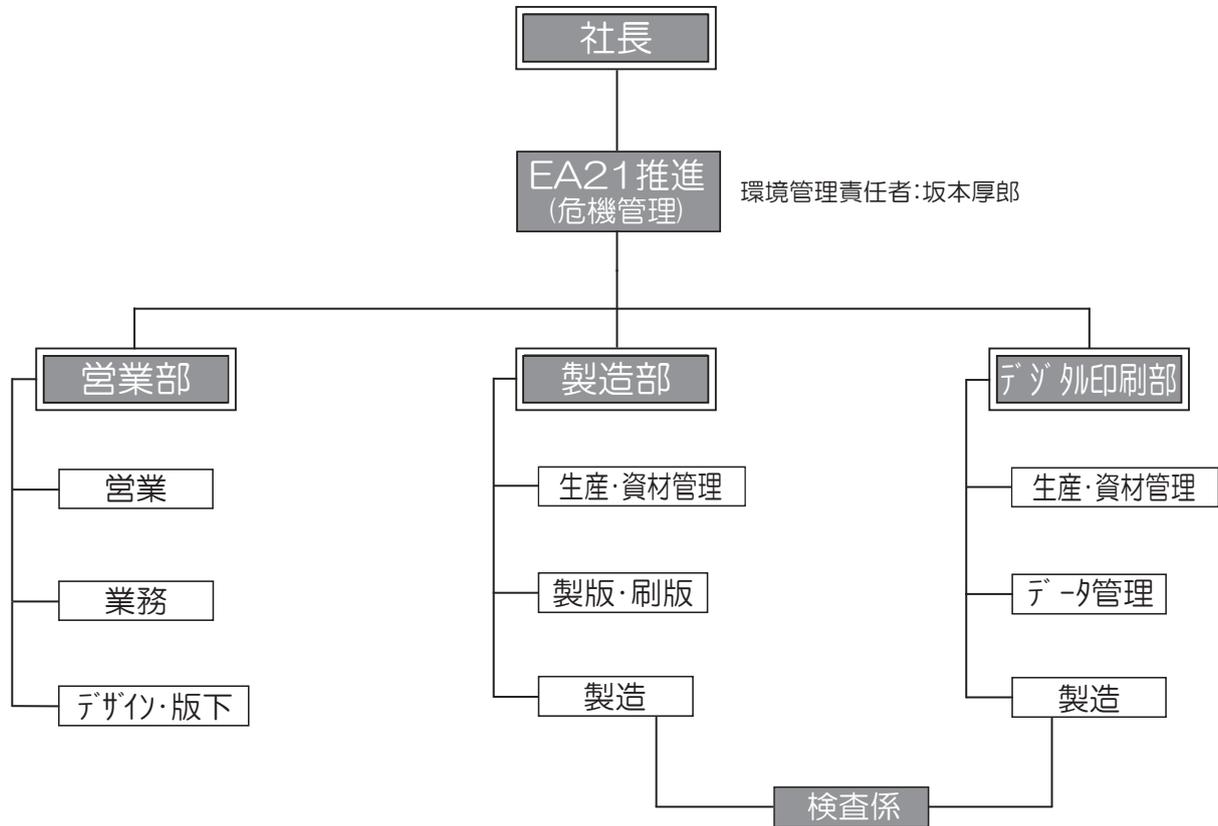
(5) 事業規模

資本金 10,000,000 円
従業員数 8 名 (2023年08月現在)
延べ床面積 242 m² (本社・八王子工場)

(6) 対象範囲

全組織・全活動を対象

《組織図》



| | 役割・責任・権限 |
|---------|---|
| 社長 | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システム実施のため必要な財(ヒト・モノ・技術)を準備 環境管理責任者の選定・任命 環境経営方針の策定・見直し、全従業員へ周知 環境経営目標・環境活動計画書の承認 全体の評価と見直しの実施 環境経営レポートの承認 経営における課題とチャンスの明確化 |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> EA21の推進 環境経営システムの構築・実施・管理 環境関連法規等の取りまとめ表の作成及びそれに基づく遵守評価の実施 環境経営目標・環境活動計画書を作成 環境活動の実績集計・取組結果を社長へ報告 環境経営レポートの作成、公開 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口担当 |
| 部門責任者 | <ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育・訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施、達成状況の報告 特定項目のマニュアル作成・運用管理 自部門での特定の緊急事態へ対応するためマニュアル作成・テスト・訓練・記録作成の実施 自部門の問題点を発見・是正及び予防処置の実施 |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 取り決めを遵守し、自主的に環境活動へ参加 |

3. 環境経営目標とその実績



1. 環境への負荷の状況 (過去3年間の実績)

| 環境への負荷 | | 単位 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | |
|---------------------------|------------------|----------------|-------|-------|-------|------|
| ① 廃棄物排出量 及び 廃棄物最終処分量 | 一般廃棄物 | その他不燃ごみ | t | 0.02 | 0.02 | 0.02 |
| | | () | t | | | |
| | | 最終処分量 | t | | | |
| | 産業廃棄物 | 廃プラ | t | 4.1 | 3.0 | 2.5 |
| | | () | t | | | |
| | 最終処分量 | t | | | | |
| ②-1 総排水量 | 公共用水域 | m ³ | | | | |
| ②-2 水使用量 | 下水道 | m ³ | 21 | 24 | 16 | |
| | 上水 | m ³ | 21 | 24 | 16 | |
| | 工業用水 | m ³ | | | | |
| | 地下水 | m ³ | | | | |
| ③ 化学物質使用量 | 大気への排出量 | kg | 10 | 10 | 15 | |
| | | kg | | | | |
| | | kg | | | | |
| ④ エネルギー使用量 | 購入電力 (新エネルギーを除く) | kg-CO2 | 12239 | 10014 | 9985 | |
| | 化石燃料 | kg-CO2 | 1118 | 1146 | 928 | |
| | 新エネルギー | kg-CO2 | | | | |
| | その他 | kg-CO2 | | | | |
| ⑤物質使用量 | 資源使用量 | t | 12.56 | 10.27 | 8.6 | |
| | 循環資源使用量 | t | | | | |
| ⑥ サイト内で循環的利用を 行っている物質等 | 利用された物質量 | t | | | | |
| | 水の利用量 | m ³ | | | | |
| ⑦ 総製品生産量または 総商品販売量 | 製品生産量等 | t | 12.50 | 5.63 | 8.00 | |
| | | t | | | | |
| | | t | | | | |

2. 2023年(2023.01~2023.12)の目標と実績

| 環境目標 | a 基準値 (2022年) | b 目標 (a×0.97) | c 実績 (2023年) | d 評価 (c÷b) | |
|--------------------|---------------------|---------------------|--------------------|------------------|----|
| 1) 購入電力の削減 | 28,131 kwh | 27,287 kwh | 25,868 kwh | 0.94 | 達成 |
| 2) 購入化石燃料(ガソリン)の削減 | 494 L | 479 L | 400 L | 0.83 | 達成 |
| 3) 廃棄物排出量の削減 | 3,059 kg | 2,967 kg | 2,506 kg | 0.84 | 達成 |

電力排出係数：0.386Kg-CO2/kwh

水使用量と化学物質使用量は僅かであるため、目標に含めていない。

3. 2024年以降の目標

| 環境目標 | 基準値 | 年間目標 | | |
|--------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| | | 2024年 | 2025年 | 2026年 |
| 1) 購入電力の削減 | 2,5861 kwh (2023年) | 25,085 kwh (対2023年比97%) | 24,583 kwh (対2024年比98%) | 24,337 kwh (対2025年比99%) |
| 2) 購入化石燃料(ガソリン)の削減 | 400 L (2023年) | 388 L (対2023年比97%) | 380 L (対2024年比98%) | 376 L (対2025年比99%) |
| 3) 廃棄物排出量の削減 | 2,506 kg (2023年) | 2,430 kg (対2023年比97%) | 2,381 kg (対2024年比98%) | 2,357 kg (対2025年比99%) |

4) グリーン購入

文房具・備品等、積極的にエコ商品を購入するよう努める。
グリーン購入法適合商品（ダストブローア）を定期的に購入。

5) 水使用量・化学物質削減

水使用量については、毎月漏水のチェックを実施する。
(2018年は実際に漏水が発見され、すぐに対処する事ができた)

化学物質の使用量削減については、指定された使用量を厳守し、
SDSに従った適切な取扱い・管理をする。また、その取組状況を定期的に確認する。

4. 主要な環境活動計画の内容

(1) 購入電力削減に向けての主な取り組み (2023.01～)

1. 照明・不要電力の節電について

- 昼休み(12時～13時)は、原則として工場・事務所を消灯する。
- 作業スケジュールの共有、技術精度の向上と効率化を図り残業時間を減らす。
- 機械や照明は使用していない時間が長くなる場合に切るよう心掛ける。
- 電力の大きい検査機の使用をまとめて行い、すぐに電源をOFFする。
- エアコンを使用する季節はON/OFFタイマーを設定。

2. 空調について

- エアコン設定温度を夏26℃以上・冬23℃以下と定め、各部屋において遵守する。
- エアコンフィルターの定期的清掃。
- クールビズを心掛け、過度なエアコンの使用を控えた。
- 室温変化を避けるため、ドアの開閉に気を付けた。

(2) 購入化石燃料低減に向けての主な取り組み (2023.01～)

1. 車両について

- 社用車の運転の際は事故防止の為の安全運転を心がけ、また急発進・急加速を控え、アイドリングストップを積極的に行い、低燃費走行を心掛ける。
- 外回りの際には行き先を明確にし、最短ルートでの走行を心掛ける。
- 配送業者や客先に社用車を使用しなくて済むよう、荷物の集荷時間に間に合うよう努めた。

(3) 産業廃棄物低減に向けての主な取り組み (2023.01～)

1. 工場について

- セット時間の短縮等、品質管理を徹底し、材料の無駄使いを低減させる。
- 定期的な機械のメンテナンスにより、不良率の軽減を図る。
- 廃棄物をRPF(固形燃料)化システムにより再熱回収する。
- 在庫管理の徹底により、材料の仕入れ過ぎに注意した。

2. 事務所について

- 現在の受注・納期管理・出荷管理システムをより進化させ、さらにペーパーレスにしていく。
- コピーをとる際、必要最小限にコピーすることを心がける。
- 画面切り取りアプリにより可能な限りモニタ上で作業をすることでペーパーレスにしていく。
- FAXを使わず、できるだけ書類の提出等をメールの添付ファイルで行う。

3. その他

- 毎年度ごとに、八王子市へ「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」を提出(2023年7月提出済)



2023年1月～12月の運用結果を評価。

(1) 電力について

●評価及び今後の取組

前年比94%となった。節電の取り組みは継続して行っている。また、作業の効率化の徹底、技術の向上により残業はほとんど行っていない。今後も技術と努力を重ねて向上をしていきたい。

(2) 化石燃料について

●評価及び今後の取組

前年比83%となった。
WEB会議が定着してきた為、外出の機会が減った。注文が重なって一時的に車の使用が増えることはあるが、前年より減らすことができたので今後も継続していく。

(3) 産業廃棄物について

●評価及び今後の取組

前年比84%となった。
経験による工夫とアイデアで、より効率化を図ることができた。度重なる材料の値上げもあり、無駄が出ないように仕入れることをかなり意識した。経験がものをいう部分でもあるので、人材の育成にも力を入れていく。

6. 環境関連法規への違反、起訴等の有無



(1) 法規制等の名称と遵守状況

弊社に關係する主な環境規制は下記のものである。
過去3年間に、違反に該当するものは1件も無かった。

| 法規制等の名称 | 該当する活動 | 遵守状況 |
|--------------------------|--------------------|------|
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | 一般廃棄物・産業廃棄物の排出 | 遵守 |
| 八王子市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例 | 事業系廃棄物・事業系一般廃棄物の排出 | 遵守 |
| 下水道法 | 油・高温水の排水禁止等 | 遵守 |
| 消防法 | 危険物の取扱・保管、消火器の点検等 | 遵守 |
| 安全衛生法 | 溶剤のSDSの保管等 | 遵守 |
| フロン排出抑制法 | 3か月毎に点検しチェックシートへ記載 | 遵守 |

(2) 違反・起訴等

関連機関から違反指摘や起訴等も1件も無かった。



代表者による全体の見直し

EA21認証取得より19年目を迎えた。

EA各従業員一人ひとりに意識が浸透しており、新しく入社した者にも当社のecoマインドを理解してもらい、教育もしっかりできていると感じる。

その結果が現れ、2023年は電力・化石燃料・廃棄物すべてにおいて目標を達成することができた。

日頃、環境経営を意識した活動を行っている従業員の頑張りの賜物である。敬意を表したい。

今後も今までのやり方に固執することなく、もっとエコなやり方はないかとトライアンドエラーを重ねながら不良率の低減に邁進し、目標達成を続けていきたい。

ペーパーレスの推進、Web会議の更なる活用、作業工程の改善などにより電力・化石燃料・廃棄物の低減はまだまだ可能と考える。

現状に満足することなく、飽くなき探究心を持ってeco活動に邁進していきたい。

今後も全社一丸となってアイデアを捻出し、また共有することで環境負荷削減へと前進し続けなければならないと考える。

2024年03月01日

(株)サカモト・プリンティング
代表取締役 坂本 厚郎

見直しの必要性

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| ①環境経営方針 | あり・ <input type="radio"/> なし |
| ②環境経営目標及び環境経営計画 | あり・ <input type="radio"/> なし |
| ③実施体制 | あり・ <input type="radio"/> なし |